

高齢者のためにできること

柏原中学校 3年 大槻 優翔

人は、誰でも人間らしく幸せに生きる権利を持っています。相手の立場をお互いに認めて、自由や権利を尊重することで成り立っていきます。ですが、日本においては、少子高齢化が進み、高齢者問題が山積みになってきています。「少子高齢化」は、日本社会にとって最も深刻な問題の一つとなっています。

では、少子高齢化が確実に進んでくる中で、どのようにすれば高齢者の人権が守られて、高齢者が安心して生活できるようになるのでしょうか？

僕には、遠く離れた所に祖父母がいます。元気ではいてくれています。が高齢になるにつれ、加齢による腰痛や膝痛などの原因もあり、祖父は杖がないと歩くのも困難になってきています。祖母は足腰もしっかりしていて、日常生活の買い物も自転車で行っていましたが、加齢による体力や気力の衰えや、この夏の暑さの影響で、買い物へ行くのも困難になってきました。母と手助けをしに行き、あげたりするのですが、遠方なので日々の生活までは助けてあげることができなくて、とても悩んでいます。

僕は、祖父母の生活のことも含め、高齢者のために何かできることはないだろうか？と思い、高齢者の日常生活支援について調べてみることにしました。高齢者の日常生活支援のサービスとして、掃除や買い物の支援や、一人暮らしの方のためのホームヘルパー訪問などがあります。しかし、多額の費用がかかることは、年金生活の高齢者にとっては苦痛になります。老人ホームなど、施設に入って生活をする手段もありますが、やはり費用の心配が出てくると思います。高齢者が安心して生活するため、生活費の補助などはないのでしょうか？

高齢者世帯に対しては、様々な給付金や支援金はあるようです。しかし、申請をしないともらえないため、制度を知らないまま受給できていないことが多いと思います。祖母が難聴のため補聴器を使用していますが、難聴の程度によっては、国が性能を認めた補聴器の購入に対して補助する制度があることも改めて知ることができました。高齢者が安心して暮らしていくためには、買い物や通院などの移動支援があれば、とても助かると思いました。

高齢者は、年老いていくにつれ毎日の生活に不安を抱えています。一番には自分自身の健康や病気の心配です。寝たきりや体が不自由になり介護が必要になることへの不安も抱えています。地域で、高齢者が気軽に健康や介護、災害対策などの支援が受

けられるような工夫が必要だと思いました。

最初に述べたように、現在日本は少子高齢化が進行しています。このまま進行していけば、僕達が高齢者になる頃には、今以上に深刻化しているでしょう。高齢者が安心して暮らしていける社会にするためには、周りの人々が高齢者を支援する仕組みを築くとともに、高齢者が抱える人権問題を知ることが、問題を解決する第一歩になると思います。この問題は、決して他人事ではありません。父母や僕自身も年老いて高齢者になる時がやってきます。国や地域の支援の確立が重要ですが、僕自身が今何ができるかを真剣に考えることが大切だと思いました。僕が小さくて何もできなかった頃には、祖父母の力を借りたことや、色々なことを教えてもらい、知識を得ました。だから、今度は僕が祖父母を助ける番です。お互いに助け合いながら、そして感謝し合いながら、楽しい人生が送れたら嬉しいです。

祖父母は、僕が勉強や部活動を頑張っていることを応援してくれています。良い成績を収めると、とても喜んでくれます。遠く離れているので、身の回りの手助けは中々してあげられませんが、今、僕にできることとしては、祖父母と交流を持ち、喜ばせてあげることだと思います。電話で話すことや、手紙を書いて感謝の気持ちを伝えることはできます。まずは、目の前にある駅伝大会に向けて頑張り、日々の学習にも力を入れて、志望校に合格し、良い結果を祖父母に伝えたいです。そして、いつまでも健康で長生きしてほしいです。